⑵　外国為替資金特別会計（別表３参照）

外国為替資金の収支は、491億円の受取超過であって、前年同期（3,051億円の受取超過）に比べ、2,560億円受取超過額が減少した。収入は、前年同期（３兆9,496億円）に比べ、3,930億円減少して３兆5,566億円となった。一方、支出は、前年同期（３兆6,445億円）に比べ、1,371億円減少して３兆5,075億円となった。

⑶　その他の特別会計等

その他の特別会計等の収支のうち、主な項目についてみると次のとおりである。

保険の収支は、収入12兆9,748億円、支出12兆600億円、差引き9,149億円の受取超過であって、前年同期（２兆7,356億円の受取超過）に比べ、１兆8,207億円受取超過額が減少した。

3　国債等・国庫短期証券等（別表１参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成27年度第４・四半期			前年同期		
	発行(借入)	償還	差引き	発行(借入)	償還	差引き
国債等	364,297	167,965	196,332	360,781	174,691	186,089
国債(１年超)	352,841	156,009	196,832	348,824	161,734	187,090
借入金	11,456	11,956	△ 500	11,957	12,958	△ 1,001
国庫短期証券等	833,493	746,394	87,099	1,034,886	810,970	223,916
国庫短期証券	717,992	630,894	87,099	919,386	695,470	223,916
一時借入金	115,500	115,500	0	115,500	115,500	△ 0

国債等及び国庫短期証券等の発行（借入）・償還状況は、上表のとおりである。

国債等の収支は、19兆6,332億円の受取超過であって、前年同期（18兆6,089億円の受取超過）に比べ、１兆242億円受取超過額が増加した。国債（１年超）の収支は、発行35兆2,841億円、償還15兆6,009億円、差引き19兆6,832億円の受取超過であった。借入金の収支は、借入１兆1,456億円、償還１兆1,956億円、差引き500億円の支払超過であった。

国庫短期証券等の収支は、８兆7,099億円の受取超過であって、前年同期（22兆3,916億円の受取超過）に比べ、13兆6,817億円受取超過額が減少した。国庫短期証券の収支は、発行71兆7,992億円、償還63兆894億円、差引き８兆7,099億円の受取超過であった。一時借入金の収支は、借入11兆5,500億円、償還11兆5,500億円、差引き０億円の受取超過であった。

（参考）　実質収支

上で述べた財政資金対民間収支は、各会計等と民間との間における収入支出（窓口収支）のみをとらえたものであるが、各会計等の収支の実態をみるため、これに各会計等相互間の収支（国庫内振替収支）を加えた実質収支を示すと、次のとおりである。

△印は支払超過（単位　億円）

区分	窓口収支 (A)	国庫内振替収支 (B)	計（実質収支） (A)＋(B)
一般会計	△ 5,533	△ 86,422	△ 91,956
特別会計等	△ 16,960	93,148	76,188
財政投融資	17,190	6,239	23,429
外国為替資金	491	13,339	13,830
保険	9,149	△ 10,665	△ 1,516
その他	△ 43,790	84,235	40,445
小計	△ 22,494	6,726	△ 15,768
国債等	196,332	△ 8,388	187,944
国債（１年超）	196,832	△ 4,789	192,043
借入金	△ 500	△ 3,599	△ 4,099
国庫短期証券等	87,099	1,661	88,760
国庫短期証券	87,099	—	87,099
一時借入金	0	1,661	1,661
合計	260,937	—	260,937
調整項目	12,138	—	12,138
総計	273,075	—	273,075

第２　国庫対日銀収支（別表４及び別表６参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成27年度第４・四半期	前年同期
国庫短期証券の発行・償還(△)	△ 131,854	△ 257,683
特別会計の債券売・買(△)	—	△ 113,387
財政投融資	—	△ 32,430
国債整理基金	—	△ 80,957
その他	△ 111,722	△ 102,510
計	△ 243,576	△ 473,580

期中における国庫対日銀収支（＊５）は、上表のとおり、24兆3,576億円の支払超過であって、前年同期（47兆3,580億円の支払超過）に比べ、23兆４億円支払超過額が減少した。

その内容についてみると次のとおりである。

1　国庫短期証券の発行・償還

国庫短期証券の発行・償還による日本銀行との間の資金調達・資金返済状況をみると、資金調達２兆4,007億円、資金返済15兆5,862億円、差引き13兆1,854億円の支払超過であって、前年同期（25兆7,683億円の支払超過）に比べ、12兆5,828億円支払超過額が減少した。

2　特別会計の債券売・買

特別会計と日本銀行との間の債券売買はなかった。なお、前年同期は、11兆3,387億円の支払超過で、財政投融資は、３兆2,430億円の支払超過、国債整理基金は、８兆957億円の支払超過であった。

3　その他

国庫と日本銀行との間の経常収支は、11兆1,722億円の支払超過であって、前年同期（10兆2,510億円の支払超過）に比べ、9,211億円支払超過額が増加した。

第３　政府預金（別表５及び別表６参照）

財政資金対民間収支（27兆3,075億円の受取超過）から政府預金（＊６）の増減に関係のない調整項目（１兆2,138億円の受取超過）を除いた収支は、26兆937億円の受取超過であった。また、国庫対日銀収支は、24兆3,576億円の支払超過であった。その結果、政府預金の期末残高は、前期末（17兆463億円）に比べ、１兆7,361億円増加して18兆7,824億円となった。